

障がい者青年学級に関するアンケート調査【担当者を体験された方(実習生等)】

○アンケート調査票での案内

この度は障がい者青年学級事業にご参加いただきありがとうございます。今後の事業運営の参考にさせていただきますのでアンケートにご協力ください。

問1 この事業に参加したきっかけについて(例：教育実習、〇〇資格取得等) <記述式>

- 1 社会教育主事資格取得がきっかけです。
- 2 社会教育実習での参加、社会教育主事資格取得
- 3 社会教育実習。社会教育主事資格取得の為。
- 4 社会教育主事の資格を得るための教育実習のプログラムで携わらせて頂きました。
- 5 まちだの広報に載っていた募集記事をみて
- 6 社会教育主事の資格取得のための社会教育実習
- 7 社会教育士資格取得のため
- 8 社会教育主事資格取得の一環として、又、人生経験の厚みを増すために参加した。
- 9 社会教育実習
- 10 大学の授業の一環(社会教育主事の資格取得)
- 11 社会教育主実習
- 12 社会教育実習1 という授業(社会教育主事の資格取得)で参加しました。
- 13 東海大学の社会教育実習、社会教育主事の取得のため
- 14 社会教育実習の授業の一環として参加した。
- 15 教育実習
- 16 社会教育主事資格の取得
- 17 社会教育実習
- 18 社会教育主事資格取得のため。
- 19 社会教育主事の資格を取るため、実習の授業を取ったこと。
- 20 大学の社会教育主事課程の授業
- 21 社会主事資格取得のための必修科目であるため
- 22 東海大学の社会教育実習 1 の講義の一環で参加しました。
- 23 社会教育主事資格取得過程
- 24 社会教育実習にて
- 25 社会教育実習で参加いたしました。

問2 この事業に参加した回数について

①学級活動日(概ね月2回9時半-17時) 回 (公民館・土曜・ひかり)

問2-①	人数
1回	14
2回	3
3回	2
4回	2
無回答	4
合計	25

問2-①	人数
公民館	9
土曜	8
ひかり	11
無回答	2
合計	30

②担当者会議(毎木曜19時-21時半頃) 回 (公民館・土曜・ひかり)

問2-②	人数
1回	3
2回	14
3回	0
4回	2
5回	2
無回答	4
合計	25

問2-②	人数
公民館	11
土曜	8
ひかり	9
無回答	2
合計	30

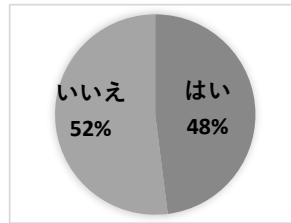
③その他(ｺﾝﾈｸﾄ等関連ｲﾝﾌﾙ) 回 (公民館・土曜・ひかり)

回答なし

問3 今後、担当者として活動に参加したいと思いませんか？

- 1 はい
2 いいえ

問3	人数
はい	12
いいえ	13
合計	25



「はい」の理由 <記述式>

- 1 担当者の方々や学級生さん方が良い方ばかりで、今後も活動に参加したいと思いました。
- 2 担当者とのお話の中で、もっと自分が成長できると感じたし、青年の皆さんをもっと知りたくなりました。
- 3 現在、市内特別支援級支援員として働く中で、ちがう面から学べるものがあるのではないかと感じて。
- 4 やりがいを感じる活動だと思ったから。
- 5 楽しく実習に参加できたから。もう一回活動に参加したいなと思った。
- 6 私の身内にも障害を持った人がいるので、もっと理解して楽しく付き合っていきたいと感じたためです。また、私が結婚するかは分かりませんが、障害を持った子が生まれた時にこの経験が何かしらどこかしらで役立つかもしれないと思ったからです。
- 7 実際に参加してみて、自分にはない様々な考え方を学び、また新たな発見を見出すことができたから。
- 8 教育実習で行った創作が楽しかったから。
- 9 あらゆる人とコミュニケーションをとり、その個性を尊重するにはどうしたら良いかを活動を通して考えていくことは、これから先、多様化する社会で生きる自分の力になると思ったからです。
- 10 自分の世界が広がったと感じたから。青年の皆さんもとても優しく、居心地が良かった
- 11 この活動への参加で、以前の私が知らなかったことを知ることができた。
- 12 青年たちとの関わりがとても楽しかったからです。

「いいえ」の理由 <記述式>

- 1 実習を通して、更に青年学級に興味を持ったが、4年生ということもあり難しい。卒論、車の免許取得等。
- 2 夏休み終わりから就職活動が本格化するため。
- 3 担当者会議へ参加することが難しい。活動自体は楽しかったし、勉強になったためまた参加したい。とは思うが、資格取得のための普段の講義やサークル、バイトなどが忙しくて町田まで行く時間がない。
- 4 町田が純粋に遠い（武蔵新城在住）
- 5 活動に参加したいのはやまやまだが、今後はほかの学習にも力を入れるため。
- 6 部活の時間と被ってしまうため参加できない
- 7 町田という場所が遠いため。
- 8 資格科目を含めた学業とアルバイトによって自分の時間が1週間のうち1日もないことがあり、他者を思いやれるほどに心のゆとりがないため。
- 9 授業としての下準備無しで担当者として参加するのは大変だと思うから。
- 10 障害のある方たちと関わるいい機会だと思った。しかし知識も経験もない状態であの場においても何もできないように感じた。
- 11 就職活動があるため。
- 12 様々な資格を取りたいと思っているので難しいから。
- 13 4月から社会人のため。社会人になっても参加出来そうなら担当者として参加したい。

問4 【問3】で「はい」と答えた方、参加を続けるとしたらいつまで可能ですか？<記述式>

（例：就職活動を始める大学〇年生まで）

- 1 就職活動を終えてからはずっと可能です。
- 2 就活期に入る前後は避けたいと考えています。
- 3 体がしんどいと思う手前まで。
- 4 インターンシップや就職活動を始める大学3年生まで

- 5 継続して活動に参加することはあまり考えていなかったもので、近いうちにもう一度参加したいなと思っている。
- 6 就職活動を始める大学3年生まで。しかしながら、私は休みの少ないサークル活動とアルバイトをしているため、参加したい気持ちはありますが時間が取れないと思います…。
- 7 就職活動を始める大学3年生まで。
- 8 卒業するまで
- 9 ただ、今の時点では大学の授業や課題を抱え込み、何とかギリギリの状態でごなしているため、参加するのは難しそうです。この先、楽になるか、負担が増えるかもわかりません。
- 10 就職活動が始まるまで
- 11 大学3年生まで
- 12 就職活動を始めるまでです。

問5 【問3】で「いいえ」と答えた方、どんな配慮があれば参加したいと思いますか？〈記述式〉

- 1 毎回参加が必須ではないなら。
- 2 時期が違えば参加しても良いとも少し思っております。
- 3 担当者会議はオンラインでも参加可能であったり、学級活動以外の業務を行うことが難しくても活動に参加可能であれば参加したい。
- 4 素直に自宅周辺の公民館を探したい。
- 5 土日など、忙しくとも参加しやすい日にちに担当者会議を移すといった配慮があれば参加してみたい。
- 6 部活と被らない時間でできることがあれば参加したい。
- 7 交通費支給などの移動支援。
- 8 定期的に参加することが難しいため「いいえ」を選択したが、事業はとても楽しかった。そのため、長期休暇や希望日のみ参加できるような緩さがあると是非参加したいと思える。
- 9 参加者に対して担当者が少なく、担当者自身の判断に任せすぎているように感じたので、担当者をもう少し増やし、担当者同士でも判断を確かめ合いながら活動したいと思った。
- 10 時間の都合が取れる日のみ参加可能の場合、参加を検討したいと思います。
- 11 担当者会議の時間帯を早めにしてもらえば参加したい。
- 12 特になし

問6 この事業は、障がいへの理解増進に繋がりましたか？

- 1 はい
- 2 いいえ

問6	人数
はい	25
いいえ	0
合計	25

「はい」の理由〈記述式〉

- 1 距離が近かったこと
- 2 実際にコミュニケーションを取ることで、直接的な学びを得ることができた。
- 3 実際に目で見て自分で体験しなければわかるものもわからない。
- 4 障がい者が自分の興味あるコースに分かれて主体的に活動した結果をお知らせ等で発信していくため、世の中への理解促進を促すのではないかと感じた。
- 5 実際に青年の方たちと話すことで理解を深めることができたと感じたから。
- 6 実際にかかわることでどのようなことが苦手なのかを知ることができたから。
- 7 実習を通して、障がい者の方々とコミュニケーションを取ることができたので、前より障がい者に対する警戒心がなくなったから。
- 8 障がいと一口に言ってもその重さや種類などが人によってさまざまであること、だからこそ「障がい者」に対してではなくて、障がいという特別な個性を含めたその人に向けて、適切なコミュニケーションや支援を模索し続けることが大事だと、実際に多様な学級の人と関わることで学びました。
- 9 人それぞれ違うのは当たり前なこと、障害という言葉で一括りにしてしまうのは違うと感じた。
- 10 担当者の声かけやサポートによって参加者が自分で考えて動くという流れを見られたことで、障がい者の行動の理由が分かるようになったような気がする。
- 11 この事業の活動に参加することによって青年たちがどんな人柄か知ることができた
- 12 実際に障がいを持つ方々とふれあい、どのように配慮すべきかよく考えられたため

問7 この事業は、障がい者の主体的な学びに役立っていると感じましたか？

- 1 はい
2 いいえ

問3	人数
はい	25
いいえ	0
合計	25

「はい」の理由<記述式>

- 1 青年ひとりひとりが個性を引き出していたところ
- 2 今日やりたいこと等、主体的に考え・行動している場面が多かった。
- 3 皆率先して活動に参加していた。
- 4 歌を歌ったり、季節の遊びを行ったり、毎回違うことを行っているなという風を感じたので、青年の方々の学びに大いに役立っていると思った。
- 5 青年の方のやりたいことを優先して行っていると感じたから。
- 6 実習をもっと積んだら、コミュニケーションを自分から取れるようになっていくと思うから。
- 7 学級の皆さんが主体となって話し合い、活動することを担当者の皆さんがなによりも大事にしていたので、学級の皆さんが自ら考えて、それを表現していることが、今回活動に参加している中で伝わりました。
- 8 参加者に主体的に動く声かけを学級内で常に行なっており、参加者自身が考えて行動するきっかけとなっていると感じた。
- 9 青年たちが主体的な活動をするためには、ある程度の補助が必要だと思ったから
- 10 職員の方々は学級生の補助だけでなく、学級活動を行うための事務的な仕事や、会議など体力的にも精神的にも大変なお仕事をされているのだと感じました。しかし、大変でも面白いとおっしゃっていて本当に素晴らしい人間性をお持ちだなと感激しました。毎日関わっているからこそ分かることや感じるものがあると思います。私ももっと成長してみなさんの力になれるような人間になりたいと思います。
- 11 障がいをもつ方々は健常者より学びの機会が制限されており、限られた機会をフルに活用されていると感じられたため。

問8 最後に、この事業に参加して感じたことがあればお聞かせください。<記述式>

- 1 青年学級を楽しみにされている学級生さんが多いと感じました。
- 2 日常生活では、まず味わうことのできない刺激が得られて良かった。もっと青年学級が世間に知ってもらえると良いと思った。
- 3 参加する前より、障がい者との関わりに興味を持った。
- 4 インクルーシブ教育について体験することによって理解できたと感じました。
- 5 今、みている子ども達が、将来にわたって楽しい仲間が作れる場所があるのはよい事だし、サポートする側もたくさん学べるものがあると思うので、もっと参加して欲しいと思っています。
- 6 事業に参加するまでは、障がいのある方と交流する機会がほとんどなく、今になって考えてみると偏見のようなものも抱いていたと思います。実際に様々な方と交流して初めて気づくこともあり、自分のことを見つめなおすきっかけにもなりました。アンケートでは参加したいかについていいえと回答しましたが、事業に参加できる時間があれば参加したいと思っています。
- 7 確かに障がい者だろうとなんだだろうと人間には変わらないという元からの考えがより固まる結果となったが、しかし、ずっと続けていては疲れてしまわないかという疑問もあった。実際辞めてしまう人も少なくないだろうが、けれど、それでも活動を続けてくれている人は本当に高潔であると感じた。
- 8 最初にコースに配属されたときは躊躇したが、1-2 人話せる人ができ、一度懐に入ってしまうと芋づる式に受け入れられていったように感じた。（あまり話さない人もいるが）また、一度話すようになると趣味や興味があることで話が盛り上がり、非常に親近感を感じた。
- 9 改めて障がい者の在り方について深く考えることができたし、この障がい者青年学級は今後に残していかなければならない事業だと感じた。
- 10 最初は急に担当者として行動できるのか不安だったが、終わってみるとあっという間で楽しかった。
- 11 実際に参加して、学級の人たちの意欲や熱量に圧倒された。私たち大学生もこれぐらいの熱量が必要だと感じた。
- 12 人手不足のためか、それとも限られた時間の中で学級を進めるべく忙しくされているから分かりませんが、障がい者の方一人ひとりの伝えたいことをうんうんと時間をかけて聞くことが出来たら、怒ってしまう方も減りさらにより良いものになりそうだと思います。事情も知らないのに意見を言ってしまう申し訳ありません。

- 13 障がいを持つ方と長い時間かかわったのは今回が初めてでした。青年の方とのコミュニケーションをとることの難しさや、逆にコミュニケーションをとれたときの喜びなどいろいろなことを体験することができました。障がいと一言で言ってもそれぞれにできること、できないことがあり、その人に合ったフォローをしてあげることが大事なのだなと感じました。
- 14 障害者への理解増進につながり、今まで自分が障害者に対して誤った偏見を持っていたことに気づかされた。
- 15 何も知らない状態であることが、そのものに対する偏見を生み出す理由なのだろうと感じました。障がい者だから、ではなく、こういう理由があるからと、表面的なものではなく深いところまで認識して、やっと相手を本当に理解できるのではないかと思います。その第一歩として、青年学級の活動に参加できてよかったです。
- 16 自分で触れないとわからないことや知らないことはたくさんあって、私たちは積極的に自分が触れてこなかったことに触れていくべきなのかもしれないと思いました。知らないまま時間が経つことで、知る機会すらなくなってしまうのは悲しいことだと思います。自分が触れてこなかっただけでそこにいたのはとっても暖かくて優しい人たちだったし、言葉じゃなくても何かの形で分かり合うことが出来るというのをとても実感しました。
- 17 担当者や学級生の距離感がよく考えられていて、社会教育という言葉が体現している事業だと感じた。
- 18 午前と午後と同じ内容の遊びをした際、既に午前中に体験した人たちは同じ事をしなければいけないので飽きてしまっていると感じた。今回の活動では午後からグループを統合して行なったのでこの通りには行かないかもしれないが、午前午後で内容を変えるなどの工夫が必要だと思った。
- 19 青年たちが中心となって学級の運営がされていることに驚いた。
- 20 何事も人と接する時は、配慮する姿勢が必要不可欠だと言うことが改めて感じられた。
- 21 参加者の積極性や協調性を見て自分も見習いたいなと思った。
- 22 始めは青年たちとのかかわり方が分からなかったのですが、皆さんのおかげで楽しく参加できました。ありがとうございました！